

本市における地域包括ケアシステムの現状について

1 本市の高齢者数の推移

清須市では高齢者人口は年々増加傾向にあり、将来的には 75 歳以上の高齢者の割合が高まることと予想されています。また、2020 年（令和 2 年度）の高齢化率は 23.4%となっています。

○清須市の高齢者数の推移＜各年 10 月 1 日時点＞

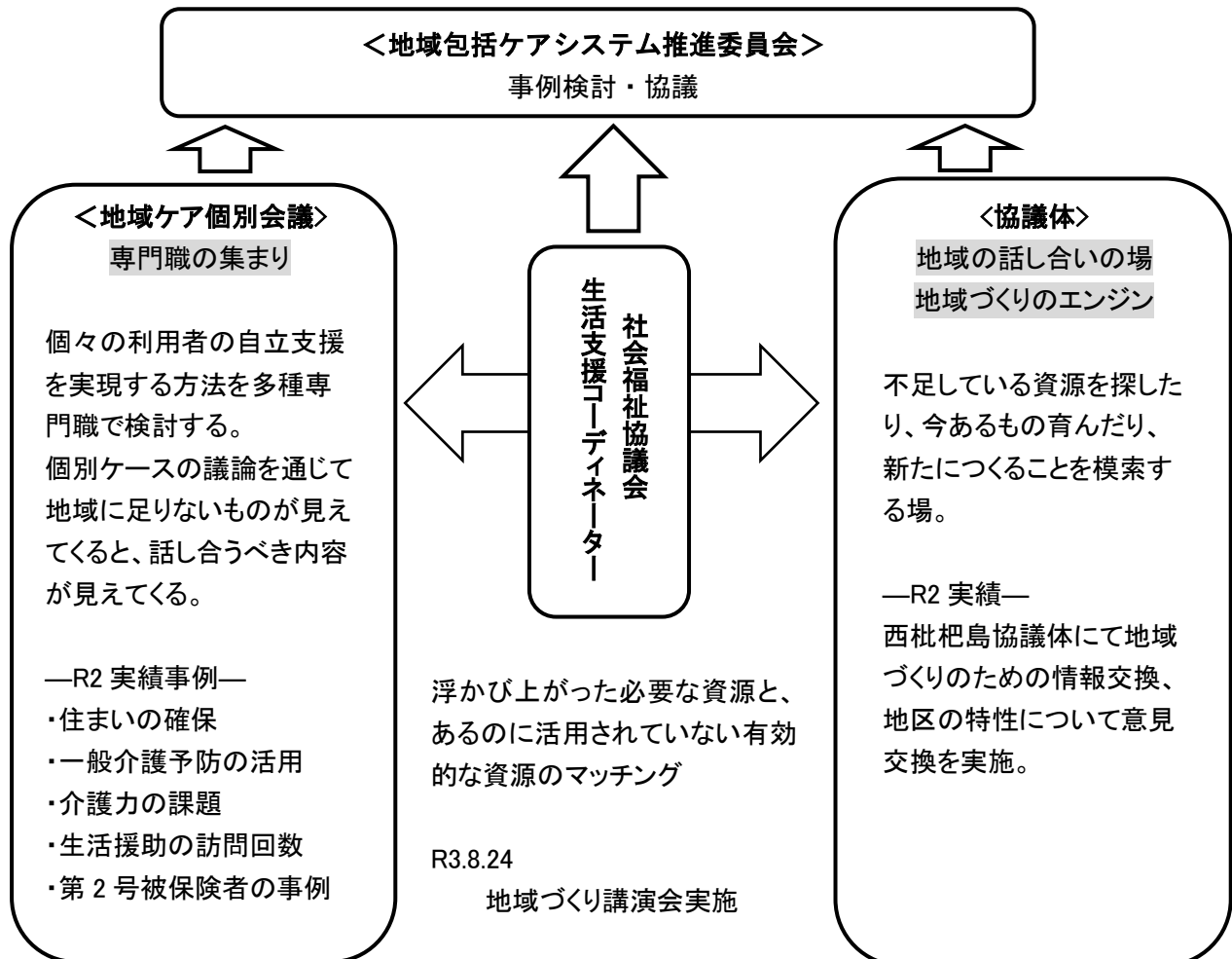
（上段：人、下段：％）

	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年	2025 年	2040 年
総数	66,897	67,372	68,649	68,914	69,257	69,390	69,536	69,110
65 歳以上	15,390	15,673	15,850	16,040	16,122	16,214	16,490	19,045
	23.0	23.3	23.1	23.3	23.3	23.4	23.7	27.6
65～74 歳 (再掲)	8,386	8,347	8,207	8,147	7,986	7,923	6,657	9,173
	12.5	12.4	12.0	11.8	11.5	11.4	9.6	13.3
75 歳以上 (再掲)	7,004	7,326	7,643	7,893	8,136	8,291	9,833	9,872
	10.5	10.9	11.1	11.5	11.8	12.0	14.1	14.3

※2025・2040 年は清須市総合計画における推計人口

2 地域ケア会議

年 5 回の個別会議（定例開催）と随時の個別会議（随時開催）で検討された課題解決に向けての意見や情報等から地域課題を明らかにし、提言する。



3 在宅医療・介護連携

在宅医療サポートセンターと2市1町で月に1回業務検討会を実施。

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築をめざす		
	事業項目	実施内容
①現状分析・課題抽出・施策立案	地域の医療・介護の資源の把握	医療機関・サービス事業所の情報更新 レインボーネットの拡充
	在宅医療・介護連携の課題の抽出	在宅医療連携会議、地域ケア個別会議、 ケアマネ会等で実施
	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	専門職の連携ハンドブックの作成
②対応策の実施	在宅医療・介護関係者に関する相談支援	コンダクターの配置
	地域住民への普及啓発	在宅医療・介護資源マップの作成
	医療・介護関係者の情報共有の支援	レインボーネットの活用 入院時連携シートの活用 病院相談窓口更新調査 お薬手帳カバー配布（医療連携推進）
	医療・介護関係者の研修	尾張中部地域研修会の実施（ケアマネ・多職種連携等）

4 認知症施策

① 認知症初期集中支援チーム

目的：認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築、医療と介護の連携強化及び地域における支援体制の構築を図る。

設置：医療法人生寿会五条川リハビリテーション病院内

活動：地域包括支援センター経由で支援対象者を把握し、認知症専門員の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問、観察、助言等の初期支援を包括的、集中的に行い、自立生活のサポートを行う。
清須市オレンジサポートチーム定例会を月に1回実施。

(過去3年実績)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対応件数	4件	5件	3件

② 認知症サポーターの養成

認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症サポーターを養成する。

(過去3年実績)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開催回数	16回	13回	3回
養成人数	584人	510人	83人

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症により開催回数減

- 一般市民のみならず企業等職域の方の認知症サポーターが増えるように養成講座を実施するとともに、活躍の場を提供できる体制づくりに努める。
- 認知症サポーターと認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズ結びつける取り組みを進める。

③ 認知症高齢者等への見守り事業

- 清須市すぐメール
徘徊高齢者捜索情報が清須市からメール登録者へ配信される
- パトロールDOGS
認知症サポーターによる飼い犬の散歩時の見守り活動
- 事業者による見守り活動
登録事業者による見守り活動（銀行、郵便局や新聞の配達等）
- 清須市認知症高齢者等の事前登録に関する要綱（令和3年7月制定）